

ビデオ・スキャンコンバーター・ユニット

XMOV-2

VIDEO SCAN CONVERTER UNIT

取扱説明書

この度は、「XMOV-2」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
商品を正しくご使用いただくために、まずこの説明書をよくお読みください。

MICOMSOFT

製品内容・トラブル・修理に関するお問い合わせ先

マイコンソフト株式会社

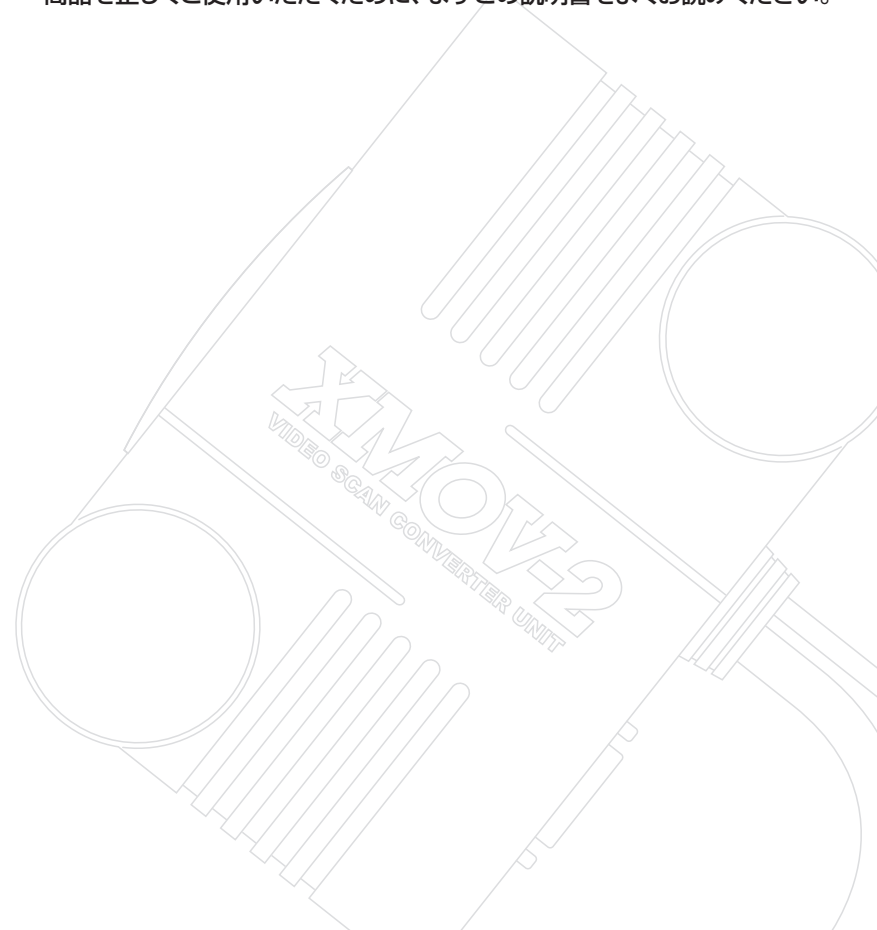
〒541-0041 大阪市中央区北浜3丁目2番25号
京阪淀屋橋ビル6階 電波新聞社・大阪本社内
TEL 06-6203-2827

<http://www.micomsoft.co.jp/>

販売・流通に関するお問い合わせ先

株式会社 電波新聞社

〒141-8715 東京都品川区東五反田1-11-15
TEL 03-3445-8201 (販売部・ダイヤルイン)



	ページ
もくじ	2
はじめに	3
接続する機器の条件	4
同梱品一覧	5
使用上のご注意(重要)	6～7
本体各部名称と解説	8～9
リモコンの各部名称と解説	10～11
はじめてリモコンを使う時	12
リモコンのお取り扱いに関する注意事項	13
リモコンの電池の交換方法と注意事項	14～15
リモコンの操作制限や利用環境について	16～17
接続手順(ノート型・デスクトップ型共通)	18
映像ケーブルの接続例 1(同梱のビデオ変換ケーブルを使用してテレビに接続する)	19
接続後の操作	19
映像ケーブルの接続例 2(市販のS端子ケーブルを使用してテレビに接続する)	20
映像ケーブルの接続例 3(同梱のD端子ケーブルを使用してテレビに接続する)	21
音声ケーブルの接続例(同梱の音声ケーブルを使用して接続する)	22
ノート型パソコンでご使用のお客様へ(画面が表示されない時)	23
ノート型パソコンで設定が正しいはずなのに画面が表示されない	24
仕様	25～27
トラブル	28～34

この度は「XMOV-2」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本書には、「XMOV-2」を正しくご使用いただくための接続方法や操作方法が書かれておりますので、本機をご使用になる前によくお読みください。

「XMOV-2」はUSBの電源で動作するビデオ・スキャンコンバーターです。「XMOV-2」をパソコンと家庭用テレビに接続することで、パソコンの映像を、家庭用のテレビに表示することができます。

また、変換した映像はビデオデッキ等で録画することができます。

お仕事で、パソコンを使用したプレゼンテーションを行う際や、動画映像などを大画面のテレビで表示したい時に本機をご使用いただくと便利です。

本機は下記の目的でご使用ください

本機は、下記の目的で使用されることを前提として開発された装置であり、それ以外の目的では使用しないでください。

- パソコンの映像を家庭用テレビやビデオ・プロジェクター等に映像を出力し、表示する。
- パソコンの映像をVTR等に映像を出力し、録画する。
- パソコンの映像をビデオ・プリンターに映像を出力し、画面を印刷する。

※ 同梱の音声ケーブルを使用することで、音声をテレビ等のスピーカーから出力することができます。

著作権について心得おきましょう

本機で変換した映像やVTR等で録画した映像を、元画像の著作権者や元映像の著作権者の許可無く、販売・賃貸・複製・配信・上映することはできません。

日本国の著作権法に違反しないよう、変換した映像や録画した映像の取り扱いについては十分ご注意ください。

商標について

本書に記載された商品名及び会社名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM、®マークは基本的に明記していません。

接続する機器の条件

本機に接続できる機器

■入力側に接続できるパソコンの条件

本機は、下記の条件を満たすパソコンに接続できます。

1. AT互換機(DOS/Vパソコン)のデスクトップ型、またはノート型の機種。
(入力可能な画面モードや同期周波数に関しては、本書の27ページをご覧ください)
2. USB端子(図2)と15ピン・アナログRGB出力端子(VGA出力端子:図1)を持つ機種。

■出力側に接続できる映像機器

本機の映像出力は下記のNTSC仕様の映像機器に入力できます。

- 家庭用テレビ(ビデオ入力端子、S入力端子またはD入力端子を持つ機種)。
- 家庭用VTR(VHS、8ミリなど録画機能を持ったビデオデッキ)。
- ビデオ・プリンター(ビデオ入力端子、S入力端子またはD入力端子を持つ機種)。
- ビデオ・プロジェクター(ビデオ入力端子、S入力端子またはD入力端子を持つ機種)。

本機に接続できない機器・動作を保証できない機器

下記の機器は、本機に接続できない、または動作を保証できない機器です。

入力側に接続できない、または動作を保証できないパソコンや映像機器の例

- USB端子から5V(500mA)が出力されていないパソコンやUSBハブ。
- WindowsCE、WindowsPocket PCの動作する機器。
- Apple Macintoshシリーズ。
- 家庭用及び業務用のビデオゲーム機器など。
- CCDカメラ等パソコン以外の機器。
- 液晶ディスプレイ専用デジタル端子(DVI-DやDFP端子)しか持たない機種。
- AT互換機(DOS/Vパソコン)であってもUSB端子(図2)を持たない機器には接続できません。また、15ピン・アナログRGB出力端(VGA出力端子:図1)を持たない機種(下記の機種等)には接続できません。

- ・ SONY VAIO : Wシリーズ、Vシリーズ、Pシリーズ
- ・ FUJITSU FM-V DESKPOWR : Lシリーズ、Tシリーズ
- ・ NEC VALUESTAR : Sシリーズ、FSシリーズ、Hシリーズなど

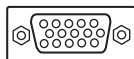


図1 : 15ピン・アナログRGB出力端子
(VGA出力端子:15ピン・ミニD-SUB)



図2 : USB端子とUSBのロゴ

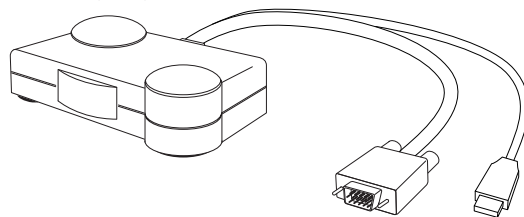


同梱品一覧

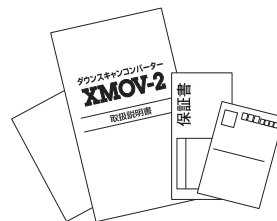
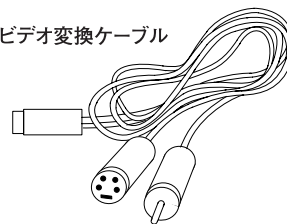
本製品には、下記の物が同梱されております。ご使用前にご確認ください。

製品には万全を期しておりますが、万が一、欠品などがございましたら、ご使用前に弊社までご連絡ください。

XMOV-2(本体)



ビデオ変換ケーブル

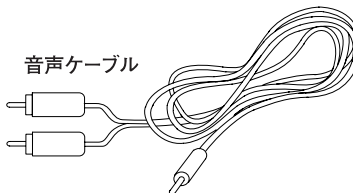


取扱説明書

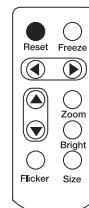
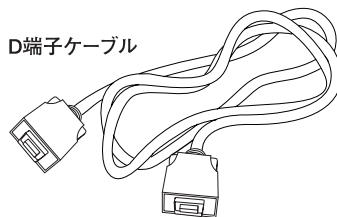
保証書

ユーザーズ・カード(ハガキ)
製品サポート・シート

音声ケーブル



D端子ケーブル



リモコン
(電池を含む)

恐れ入りますが、ユーザーズ・カード(ハガキ)は、必要事項をご記入の上、郵便局のポストへ投函してください。お客様のご意見を次回製品の参考とさせていただきます。

用上のご注意 (重要)

XMOV-2は精密な電子機器です。お取り扱い時には、次のことにご注意ください。

- 使用中に、本機から煙が出たり、変な臭いがする時は、すぐに使用を中止し、「電波新聞社・販売部 ユーザー・サポート係」または、「マイコンソフト株式会社・サポート係」までご連絡ください。そのままご使用になりますと火災や感電の原因となりますのでご注意ください。
- 本機は精密機器です。ご使用中や輸送時に強い衝撃与えたり、ケーブルを引っ張るなどの激しい取り扱いはしないでください。
- 本機をご使用にならない場合は、パソコンから本機のUSBケーブルを取り外してください。本機を長時間接続するとパソコン側のバッテリーの電気を消費してしまいます。
- 本製品に付属しているケーブル類を、別の用途に使用しないでください。本製品に付属しているケーブル類は、本機に映像機器やパソコンを接続するために添付されているものです。
- ケーブルを接続する際に、コードを引っ張らないでください。
- 本機やケーブルの上に物が乗った状態で使用しないでください。
- 本機を長時間使用すると、本機が高温になることがあります。お手を触れる際には十分ご注意ください。
- 接続する端子や接続方法を間違えると、本機や接続した機器が故障する恐れがあります。接続の際は本書をお読みいただき、正しく接続してください。
- 長時間、映像を表示し続けると、テレビ画面に映像の焼き付きが起こることがあります。使用しない時はテレビの電源をオフにするか、パソコンから、XMOV-2のUSBケーブルを取り外すことをお勧めします。また、XMOV-2の映像出力を明るくしすぎると、同様に焼き付きの原因となることがあります。プロジェクト方式のテレビでは、特に焼き付きが起こりやすいのでご注意ください。
- 本機を直射日光の当たる場所に置かないでください。
- ぬれた手で本機を触らないでください。感電する恐れがあります。
- 分解、改造は絶対にしないでください。分解、改造後の保証・修理はいたしません。
- テレビの上やAVラックの中など、熱のこもりやすい状態で使用しないでください。
- どうしても本機が正常に動作しない時や、操作がよく分からない時は、まず弊社にご連絡いただき、担当者の指示に従ってください。

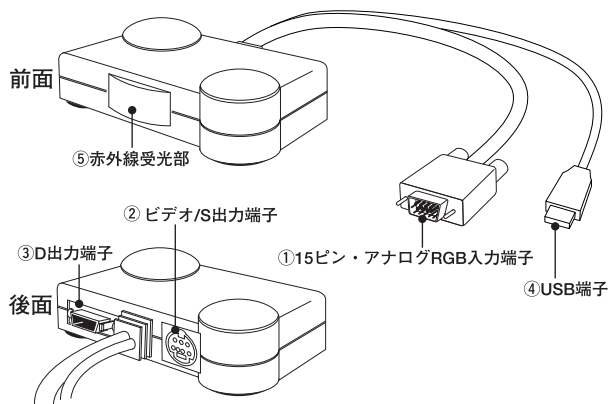
使用上のご注意 (重要)

- お客様が、テレビ画面の「点滅」、「激しい色の変化」、「激しい動き」を見ると気分が悪くなるような体質をお持ちの場合は、本機の使用をご遠慮ください。大画面のテレビをご使用の際は特に注意が必要です。また、テレビ画面を見る時は、部屋を明るくし、できるだけテレビから離れてください。
- 寒い屋外から暖房されている部屋に持ち込むと、急激な温度変化により、表面に水滴がつくことがあります。水滴がついたままご使用になりますと、故障、感電、火災の原因となります。
- 本機は、室内での使用を前提として設計されています。このため、屋外など過酷な条件や、極端な温度・湿度条件下で使用した際の動作は保証できません。また、業務用途での使用(例えば何年も電源を切らずに連続稼働するシステムに組み込むなど)を前提として設計されておりませんので、仕様面や耐久性において、お客様の満足がいかないことがあります。このため、業務用途でのご使用はお薦めできません。
- 本機は一般的なオフィスや家庭での使用を前提として設計された民生用の装置です。本機を、軍事機器、航空宇宙機器、原子力制御システム、幹線通信機器、交通機器、医療機器および、各種安全装置など、その故障や誤動作が社会・公共性または、直接人命や人体、財産に影響を及ぼすような高い品質・信頼性が要求される用途に使用しないでください。
- 本製品を本来の目的意外の用途に使用しないでください。
- 本製品を、日本国以外の国や地域(海外)では使用しないでください。日本国以外の国や地域で使用した際の事故、故障、損害に関しましては保証できません。保証規定は、日本国内においてのみ有効です。
- 本機の保証期間は、保証規定に従い、お買い上げ日から6ヶ月となります。それ以降は有償修理となります。また、本機のサポート期間は、生産完了後5年間とさせていただきます。それ以降は、部品等の供給の問題から修理できない場合があります。
- 本機の仕様や概観を改良のため予告なく変更する場合があります。ご了承ください。
- この取扱説明書の指示に従わずに発生した、いかなる事故、損害に関しても、弊社は一切責任を負いません。

本体各部名称と解説

本機の各部名称は、下記のようになっております。

図3



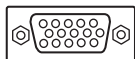
① 15ピン・アナログRGB入力端子

パソコンに接続する端子です。

この端子をパソコンの15ピン・アナログRGB出力端子 (VGA 出力端子：図4) に接続し、本機に映像を入力します。

この端子を持たないパソコンには接続できません。対応しているパソコンの画面モードや同期周波数(リフレッシュレート)に関しては、本書の27ページ「対応画面モード一覧」をご覧ください。

図4：15ピン・アナログRGB出力端子
(ミニD-SUB 15ピン)



本体各部名称と解説

② ビデオ/S出力端子 (V/S OUT)

この端子から、ビデオ映像とSビデオ映像が出力されています。

同梱の「ビデオ変換ケーブル」を使用し、家庭用テレビ等にビデオ映像やSビデオ映像を出力することができます。

また、この端子に市販のS端子ケーブルを使用して、家庭用テレビなどと接続することもできます。

なお、本機のD出力端子にD端子ケーブルが接続されている時は、この端子から映像を出力することは出来ません。

図5：ビデオ/S出力端子 (7ピン)



③ D出力端子 (D OUT)

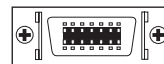
この端子から、コンポーネント・ビデオ映像が出力されています。

市販のD端子ケーブルを使用して、D1端子付きの家庭用テレビ等にコンポーネント・ビデオ映像を出力することが出来ます。

同梱の「D端子ケーブル」を使用し、家庭用テレビ等にコンポーネント・ビデオ映像を出力することができます。

市販のD端子ケーブルを使用する際は、必ず「EIAJ 準拠」の物をご使用ください。「EIAJ 準拠」ではないD端子ケーブルを使用すると、映像を正しく出力できないことがあります。

図6：D出力端子 (MDR-14ピン)



④ USB端子

パソコンに接続する端子です。

パソコンのUSB端子に接続します。

USB端子から電源(5V)が供給されます。

図7：USB端子とUSBのロゴ



⑤ 赤外線受光部

リモコンからの赤外線を受光する部分です。

この部分に向けてリモコンを操作すると、リモコンからの信号を受け取る事ができます。リモコンの取り扱いに関しては本書の10~17ページをご覧ください。

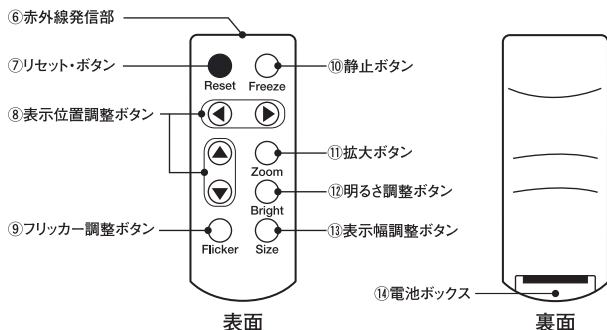
リモコンの各部名称と解説

リモコンの各部名称と機能については下記をご覧ください。

本機をご購入後、はじめてリモコンをご使用になる場合は、本書の12～13ページをご覧ください。

電池の交換方法に関しましては、本書の14～15ページをご覧ください。

図8



備考：リモコンで調整・設定した内容（表示位置や表示幅、明るさ、フリッカー）は、各画面モードで共通です。画面モード別に設定を変更することは出来ません。

⑥ 赤外線発信部

リモコンの制御信号を発信する部分です。

この発信部を本体の赤外線受光部に向けて操作してください。

⑦ リセット・ボタン (Reset)

リモコンで設定した調整内容を工場出荷時の設定に初期化します。

設定した内容をすべて元に戻したい時には、このボタンを押してください。

⑧ 表示位置調整ボタン

テレビに表示した画面の位置を調整します。

矢印の方向に画面を移動することができます。

調整内容はメモリに自動的に記憶され、本機の電源オフ時でも設定は保持されます。

画面を拡大表示している時は、拡大した画面の位置を調整することができます。

拡大表示している時の表示位置調整は電源がオフになると初期化されます。

リモコンの各部名称と解説

⑨ フリッカー調整ボタン (Flicker)

画面のちらつきの度合いを調整する機能です。

このボタンを押す度に画面のちらつきの度合いが変わります。

4段階の調整が可能です。

画面がちらついて、見づらい時などに操作してみてください。

なお、画面のちらつきが激しくなると、画面は鮮明になり、ちらつきを抑えると、画面の鮮明度は低下します。

調整内容はメモリに自動的に記憶され、本機の電源オフ時でも設定は保持されます。

画面を拡大表示している時は使用できません。

⑩ 静止ボタン (Freeze)

変換した映像を静止させる事ができます。

動画などの映像を静止させて見たい時などに使用すると便利です。

もう一度押すと、静止を終了する事ができます。

画面を静止している時は、リモコンの他のボタンを操作することはできません。

静止は本機の電源がオフになると終了します。

⑪ 拡大ボタン (Zoom)

テレビに表示されたパソコンの画面を拡大して表示する事ができます。

もう一度押すと拡大を終了する事ができます。拡大表示は本機の電源がオフになると終了します。

⑫ 明るさ調整ボタン (Bright)

画面の明るさを調整するボタンです。

このボタンを押す度に画面の明るさが変わります。4段階の調整が可能です。

調整内容はメモリに自動的に記憶され、本機の電源オフ時でも設定は保持されます。

⑬ 表示幅調整ボタン (Size)

テレビ画面に表示した映像の垂直方向と水平方向の表示幅を同時に調整します。

このボタンを押す度に画面の表示幅が変わります。調整は4段階可能です。調整内容はメモリに自動的に記憶され、本機の電源オフ時でも設定は保持されます。

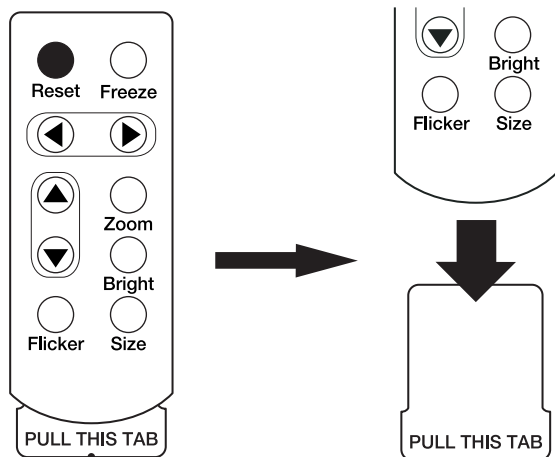
はじめてリモコンを使う時

初めてリモコンを使用する時は、下記の操作を行ってください。

リモコンには工場出荷時に乾電池が挿入済みになっておりますが、リモコンの電池ボックス内に絶縁シートが挿入されているため、そのままではリモコンを使用できません。

本機のリモコンを、初めてご使用になる時は、下図を参考にして、絶縁シート（「PULL THIS TAB」と書かれたシート）を引き抜いてください。

図9



この絶縁シートを引き抜きます

リモコンのお取り扱いに関する注意事項

リモコンをご利用になる際は、下記の点にご注意ください。

1. リモコンを人に向けて操作しないでください。
2. リモコンは、小さなお子さまの手の届かないところに保管してください。
3. リモコンをぬらしたり、ぬれた手で操作しないでください。感電や故障の原因となるだけでなく、電池がショートして発熱・破裂・発火する恐れがあります。
4. リモコンは精密機器です。落としたり衝撃を加えると故障することがあります。
5. リモコンのボタンが押されたままの状態（何かの下敷きになっている状態など）にしないでください。長期間その様な状態で放置されると、電池容量が早く無くなるだけでなく、電池内部の液が漏れ出す可能性があり、結果的に感電・漏電・発熱・破裂・発火する恐れがあります。
6. リモコンを使用しない時は、リモコンの表面（ボタンがある面）を上にし、リモコンの上に物を置かない状態で直射日光の当たらない場所に保管してください。
7. 電池を交換する際は、電池の極性「+」と「-」を絶対に間違えないでください。
極性を間違えて電池を使用すると電池が発熱・破裂・発火する恐れがあります。

リモコンの電池の交換方法と注意事項

長期間本機をご使用になり、リモコンのボタンを押しても機能しなかったり、リモコンの動作が不安定になった時は、リモコンのリチウム電池の容量が少なくなっている可能性があります。

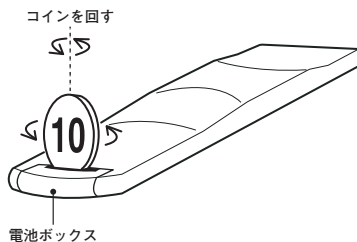
この様な時は、下記の操作でリモコンの電池ボックスを開け、リチウム電池を新しい物と交換してみてください。交換用のリチウム電池は、家電店等でご購入ください。

ご購入いただくリチウム電池の型番は「CR2025」です。

■電池の交換方法

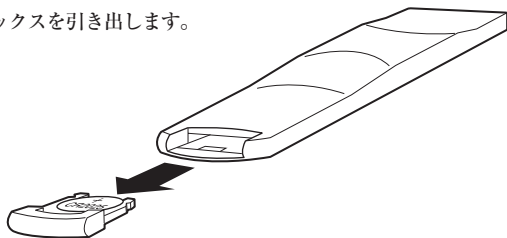
1. リモコン裏面の電池ボックス部の溝に、10円硬貨等を挿入した後、硬貨を回すことで電池ボックスを開けることができます。

図10



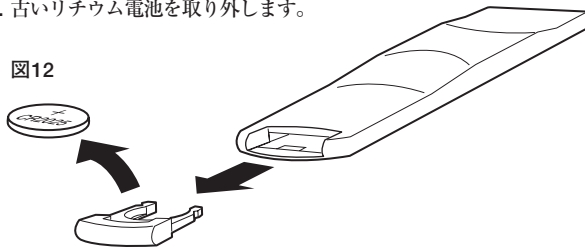
2. 電池ボックスを引き出します。

図11



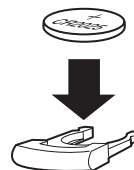
3. 古いリチウム電池を取り外します。

図12



4. 電池ボックスに新しいリチウム電池 (CR2025) を「+」を上にして挿入します。

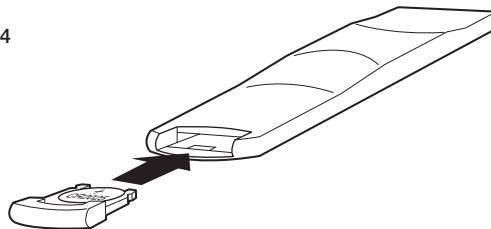
図13



5. 電池ボックスをリモコンに挿入します。

「カチッ」と音がするまで、電池ボックスをしっかり押し込んでください。

図14



電池のお取り扱いに関する注意事項

本機に同梱 (リモコンに付属) されているリチウム電池をご利用の際は、下記の点にご注意ください。

1. 電池は、小さなお子さまの手の届かないところに保管してください。本機に同梱されておりますリチウム電池は、口に入ると大変危険です。電池のお取り扱いには十分ご注意ください。特に小さなお子さまがおられる方はご注意ください。
2. 使用済みの電池は各地方自治体の指示に従って、正しく処分してください。
3. 電池をぬらしたり、ぬれた手で触らないでください。感電の原因となるだけでなく、電池がショートして発熱・破裂・発火する恐れがあります。
4. 電池を交換する際は、電池の極性「+」と「-」を絶対に間違えないでください。極性を間違えて電池を使用すると電池が発熱・破裂・発火する恐れがあります。

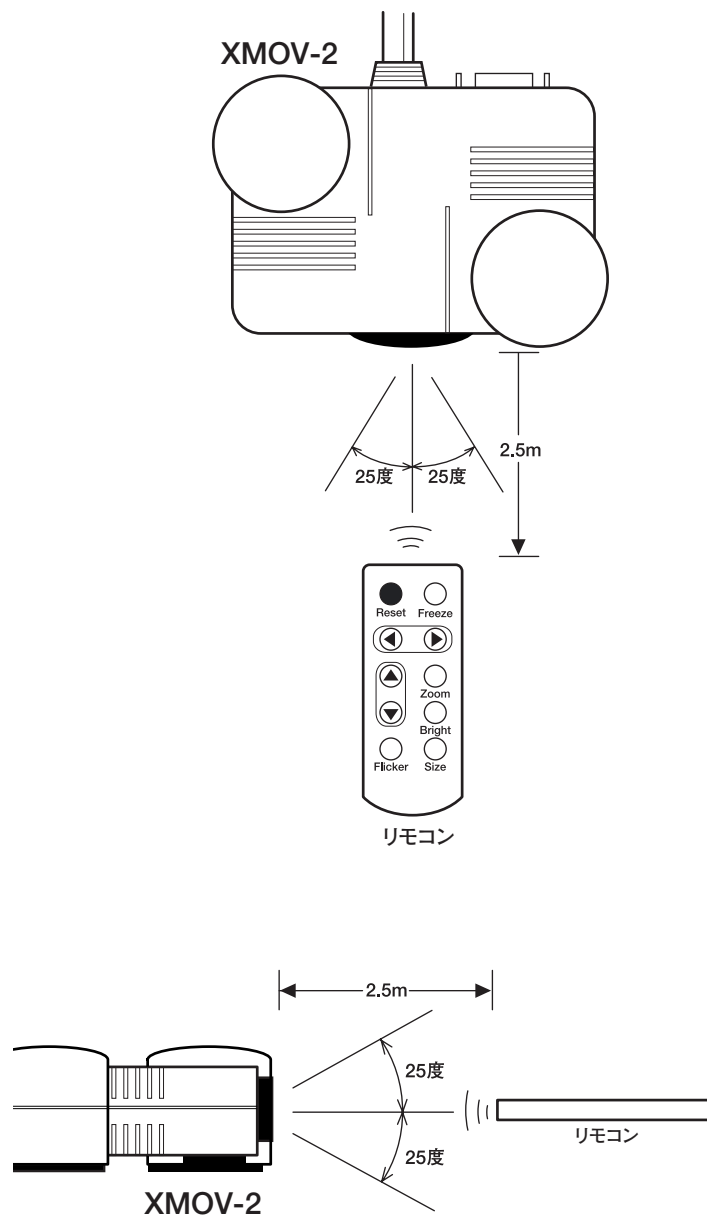
リモコンの操作制限や利用環境について

本機のリモコンは、ご使用方法や環境によって正しく動作しない事があります。

本機のリモコンをご使用の際は、下記の条件でご使用ください。

1. XMOV-2本体の赤外線受光部を中心として、リモコンの赤外線発信部は上下左右25度以内の角度で操作してください。それ以上の角度から操作すると、正しく操作できないことがあります。
2. XMOV-2本体とリモコンの距離は2.5m以内で操作してください。2.5m以上離れると、正しく操作できないことがあります。
3. 直射日光の当たるところや蛍光灯の近くで操作すると、正しく操作できないことがあります。
4. リモコンのボタンを押しても機能しない時や動作が不安定になった時は、リチウム電池を交換してみてください。リチウム電池の交換方法は本書の14～15ページをご覧ください。

図15



接続手順 (ノート型・デスクトップ型共通)

本機を接続する際は、下記接続手順と19～22ページの接続図を参考に接続してください。

なお、ノート型パソコンでは、接続時に映像を外部ディスプレイ(ここではXMOV-2の事)に出力していない機種がほとんどですので、接続後にパソコン側の設定を変更し、外部に映像が出力できるようにしてください(機種によっては、設定を変更しなくても問題なく画面を表示できることがあります)。ノート型パソコンでの設定の変更方法は本書の23～24ページをご覧ください。

接続前の確認事項：

本機を接続する前に、全ての機器の電源をオフにしてください。

接続1：XMOV-2本体に「ビデオ変換ケーブル」を接続

同梱の「ビデオ変換ケーブル」の「複合端子(7ピン端子側)」をXMOV-2本体の「ビデオ/S出力端子(S/V OUT)」に接続します。

※市販のS端子ケーブルでテレビに接続される際は、20ページもご覧ください。

※D端子ケーブルでテレビに接続される際は、21ページもご覧ください。

※音声ケーブルを接続される際は、22ページもご覧ください。

接続2：家庭用テレビに「ビデオ変換ケーブル」を接続

「ビデオ変換ケーブル」の「S端子」、または「ビデオ端子」を家庭用テレビの「S入力端子」または、「ビデオ入力端子(黄色い端子)」に接続します。(接続の際は、「S端子」、または「ビデオ端子」のどちらか一方のみを接続してください。)

接続3：RGBケーブルをパソコンに接続(映像を入力)

XMOV-2の「15ピン・アナログRGB入力端子(RGBケーブル)」をパソコンの「15ピン・アナログRGB出力端子(VGA出力端子)」に接続し、「ねじ」をしっかりと固定します。

※一部のノート型パソコンには「15ピン・アナログRGB出力端子(VGA出力端子)」の無い機種があります。これらの機種ではパソコン付属の「ポートリプリケータ(または変換ケーブル)」などを介して接続してください。なお、外部への映像出力機能を持たないパソコンには、本機を接続できません。

接続4：USBケーブルをパソコンに接続

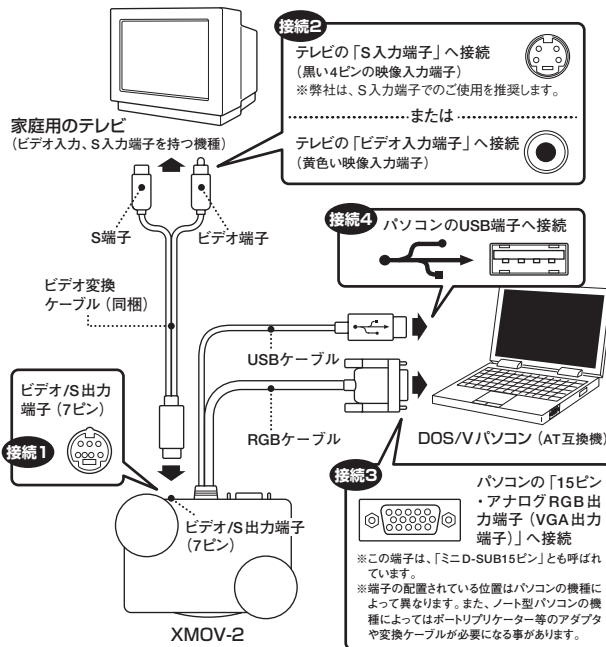
XMOV-2の「USB端子(USBケーブル)」をパソコンの「USB端子」にしっかりと接続します。

映像ケーブルの接続例 1

～同梱のビデオ変換ケーブルを使用してテレビに接続する～

同梱のビデオ変換ケーブルを使用した際は、下記のようにテレビ等に接続します。

音声ケーブルの接続に関しては、22ページをご覧ください。



※本機の「D出力端子」と「ビデオ/S出力端子」は同時に映像を出力できません。
本機にD端子ケーブルを接続している時は、「ビデオ/S出力端子」から映像を出力できません。
ビデオ端子やS端子での接続でテレビに映像を表示する時は、本機からD端子ケーブルを取り外してください。

接続後の操作

操作1：パソコンの電源を「オン」にします。

USB端子から電源が供給され、XMOV-2の電源が「オン」になります。

操作2：家庭用テレビ(またはビデオデッキ等)の電源を「オン」にして、家庭用テレビ(またはビデオデッキ等)のチャンネルを「外部入力」に設定します。

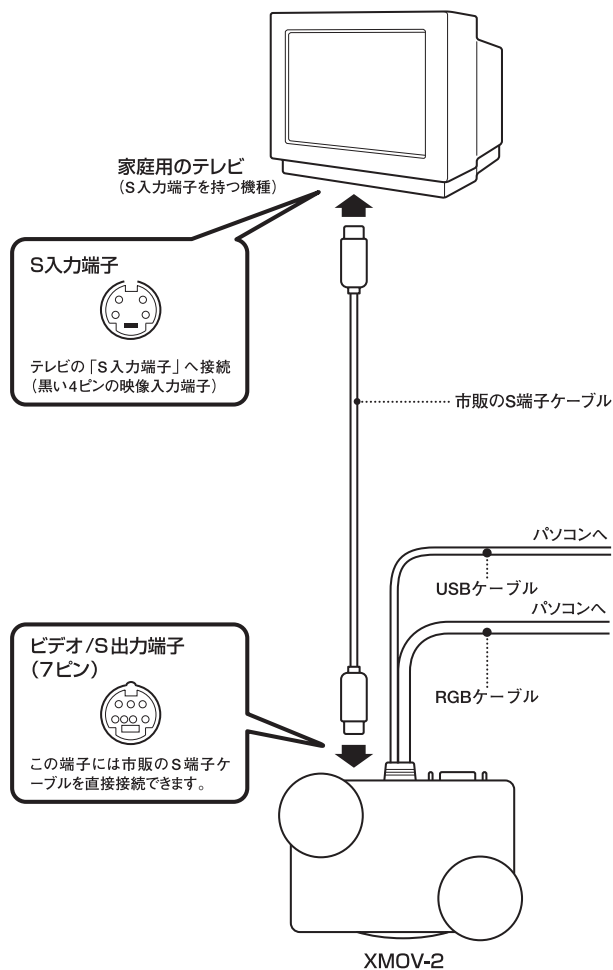
デスクトップ型パソコンをご使用のお客様は、この時点でテレビにパソコンの画面が表示されているはずですので、接続作業は終了です。ノート型パソコンでご使用のお客様の多くは、この時点で、家庭用テレビに画面が表示されていない(画面が真っ黒な)方が多いと思いますので、23～24ページをご覧ください、必要に応じてパソコン側の設定を変更してください。

映像ケーブルの接続例 2

～市販のS端子ケーブルを使用してテレビに接続する～

市販のS端子ケーブルを使用した際は、下記の様にテレビ等に接続します。

音声ケーブルの接続に関しては、22 ページをご覧ください。
パソコンとの接続に関しては、18～19 ページと同様です。



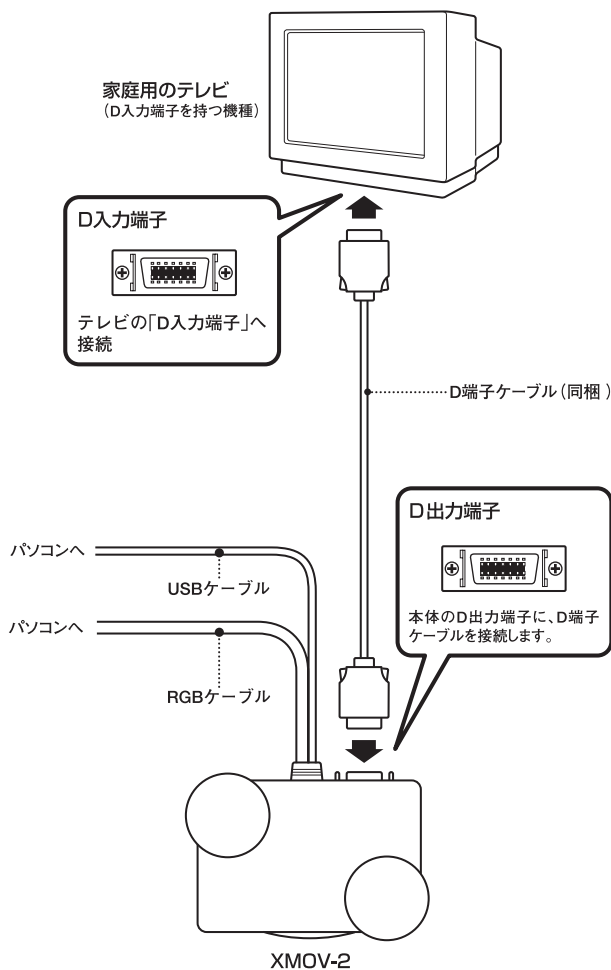
※本機の「D端子」と「ビデオ/S出力端子」は同時に映像を出力できません。
本機にD端子ケーブルを接続している時は、「ビデオ/S出力端子」から映像を出力できません。
S端子の接続で、テレビに映像を表示する時は、本機からD端子ケーブルを取り外してください。

映像ケーブルの接続例 3

～同梱のD端子ケーブルを使用してテレビに接続する～

同梱のD端子ケーブルを使用した際は、下記の様にテレビ等に接続します。

音声ケーブルの接続に関しては、22 ページをご覧ください。
パソコンとの接続に関しては、19 ページと同様です。



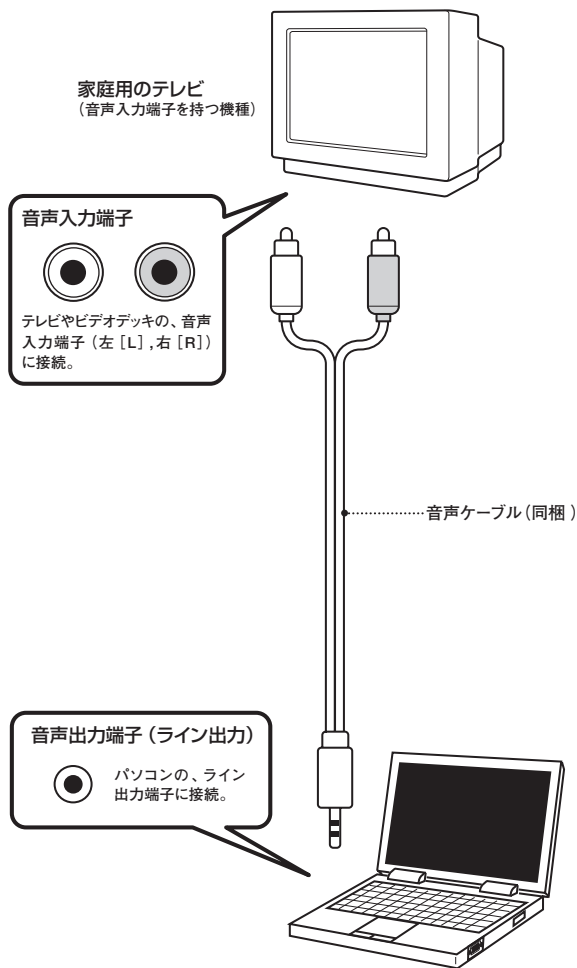
※本機の「D端子」と「ビデオ/S出力端子」は同時に映像を出力できません。
本機にD端子ケーブルを接続している時は、「ビデオ/S出力端子」から映像を出力できません。
S端子の接続で、テレビに映像を表示する時は、本機からD端子ケーブルを取り外してください。

音声ケーブルの接続例

～同梱の音声ケーブルを使用して接続する～

テレビのスピーカーからパソコンの音声を聞きたい時は、下記のような接続で、パソコンの音声をテレビやビデオデッキ等に入力してください。

赤い端子は右 (R) 端子へ、白い端子は左 (L) へ接続します。

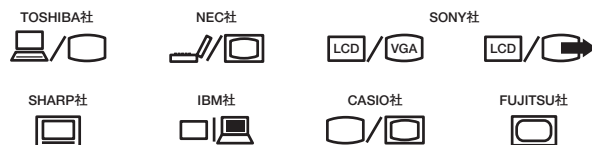


※パソコンの音声を、テレビ等のスピーカーから出力すると、音量が著しく小さくなり、聞きづらいことがあります。
※音量の調整は、パソコン側やテレビ側で行ってください。

ノート型パソコンでご使用のお客様へ

現在販売されている多くのノート型パソコンは、ケーブルを接続しただけでは映像を出力しません。映像を外部(ここではXMOV-2のこと)に出力するには、ノート型パソコン側の設定を変更する必要があります。

一般的にはパソコンの「Fn」キーとファンクションキー (F1～F12) のいずれかのキーを同時に押して設定を変更する機種が多いようです。切り替え用のキーには、下記のようなロゴが印刷されています。(ロゴの表記はメーカーや生産時期によって異なります)



「表1」は代表的なキー操作をまとめたものです。参考までにご覧ください。

「表1」のキー操作を繰り返すことで、「内部液晶表示+外部出力表示」→「外部出力表示のみ」→「内部液晶表示のみ」といった具合に出力モードが切り替わります(機種によっては、外部出力表示をすると、内部液晶表示ができない事があります)。

なお、設定方法や切り替えキーの場所は、必ずしもメーカーごとに統一されている物ではなく、パソコンの生産時期や機種などによっても異なる可能性がありますので、正確にお知りになりたい場合は、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

表1: ノート型パソコンで映像を外部に出力するためのキー操作一覧 (2004年5月現在)

メーカー	代表的なノート型の機種名	画面切り替え対応のキー操作
SONY社	VAIOシリーズ	「Fn」キーと「F7」キー
TOSHIBA社	Dynabook / Librettoシリーズ	「Fn」キーと「F5」キー
NEC社	LaVieシリーズ	「Fn」キーと「F3」キー
FUJITSU社	FM-VIBLO / LOOXシリーズ	「Fn」キーと「F10」キー
SHARP社	Mebiusシリーズ	「Fn」キーと「F5」キー
IBM社	ThinkPadシリーズ	「Fn」キーと「F7」キー
Panasonic社	HITO / Let's noteシリーズ	「Fn」キーと「F3」キー
HP / Compaq社	Evo Notebookシリーズ アルマダ・シリーズ	「Fn」キーと「F4」キーまたは 「Fn」キーと「F3」キー
DELL社	Inspironシリーズ	「Fn」キーと「F8」キー
HITACHI社	Priusシリーズ	「Fn」キーと「F3」キーまたは 「Fn」キーと「F7」キー 「Fn」キーと「F8」キー
Victor社	InterLinkシリーズ	「Fn」キーと「F10」キー
CASIO社	CASSIOPEIA FIVAシリーズ	「Fn」キーと「F10」キー

ノート型パソコンで設定が正しいはずなのに画面が表示されない

一般的には、ノート型パソコンから映像を外部へ出力すると、液晶画面と同じ画面が外部(ここではXMOV-2)に出力され、家庭用テレビ等に表示できます。

しかし、ノート型パソコンの機種によっては、初期状態で外部への映像出力設定が「マルチモニター・モード(マルチ・ディスプレイ)」に設定されている機種があります(または、以前にパソコンを使用していた方が、マルチモニター・モードに設定している事があります)。

下記の症状が出ている時は、パソコンの設定を変更すれば、改善できると思われます。

1. 画面は表示しているようだが、壁紙の様な色が画面いっぱいに表示される。
2. 画面下のタスクバー(スタート)が表示されない。
3. 液晶画面と表示されている画面が違う。

「マルチモニター・モード」とは、液晶の画面とは別のデスクトップ画面(拡張画面)を持つモードの事で、下図の様に2つの画面を1つの大きなデスクトップ画面として使用できます。

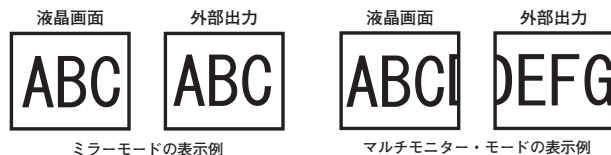
ノート型パソコン側が「マルチモニター・モード」になっていると、外部出力画面は通常「壁紙」しか映らないため、実際には映像が出力されているのですが「映像が出力されていない」、「画面が灰色になる、青色になる」、「画面が出ない」とお客様に判断されてしまい、故障や不良と勘違いされる事があるようです。

もし、お客様が液晶画面と同じ画面をテレビに表示されたい場合は「マルチモニター・モード」をオフにし、パソコンの設定を「ミラーモード」に変更してください。

これらのモードの設定変更は、「デスクトップ上でマウスを右ボタンクリック」-「プロパティ」-「画面のプロパティ」から変更できます。設定方法はパソコンによって異なりますので、詳しくはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

図16

ミラーモードとマルチモニター・モードの違い



仕様

本体仕様

映像	入力	15ピン・アナログRGB入力(VGA入力) 15-pin HD-SUB 3段(ミニD-SUB15ピン)・オス型 映像信号: 0.7Vp-p 同期信号: TTLレベル 垂直同期: 50Hz to 100Hz 水平同期: 31kHz to 80kHz
	出力	D端子(D1) 525i対応 MDR-14ピン Y信号 1Vp-p Pb信号 0.7Vp-p(±350mVp-p) Pr信号 0.7Vp-p(±350mVp-p)
信号仕様	ビデオ/S端子	端子形状: 7pin mini-Din・メス型
	ビデオ(コンポジット・ビデオ)・NTSC準拠	信号: 1Vp-p(75Ω) 信号レベル: 最小値: 0.8V ~ 最大値: 1.2V ビデオ変換ケーブル端子仕様: 端子形状: RCA
	Sビデオ・NTSC準拠	Y信号: 1Vp-p(75Ω) 信号レベル: 最小値 0.6V ~ 最大値: 1.0V C信号: バースト信号部で0.286Vp-p(75Ω) ビデオ変換ケーブル端子仕様: 端子形状: 4-pin mini-Din
画質	A/D処理: R=8-bit, G=8-bit, B=8-bit, 内部処理: YUV 4:2:2	
変換CHIP	FOCUS FS401	
電源(USB仕様)	電圧: DC 5V 消費電流: 500mA	
本体最大消費電流	最大 500mA	
寸法	W: 100mm x D: 66mm x H: 28.5mm (ケーブル、ゴム足、端子凸部を除く)	
重量*	本体重量: 約 190g (RGBケーブルとUSBケーブルを含む)	

*本体重量は、生産時期によって異なります。

仕様

リモコン仕様

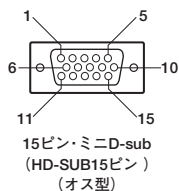
通信方式	赤外線
乾電池	3.0V CR2025x1
寸法	W:83mm x D:31.5mm x H:9.1mm
重量	約 14g (乾電池を除く)

リチウム電池仕様

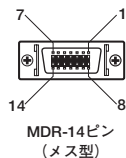
形状	CR2025
電圧	通常電圧：3.0V

端子仕様

15ピン・アナログRGB入力端子			
1	R in	9	NONE Connect
2	G in	10	GND
3	B in	11	ID GND
4	GND	12	NONE Connect
5	GND	13	Hsync in
6	R_GND	14	Vsync in
7	G_GND	15	NONE Connect
8	B_GND	外周	SHEELD GND

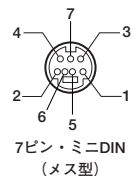


D 出力端子			
1	Y out	8	OV (GND)
2	Y GND	9	OV (GND)
3	Pb out	10	NONE Connect
4	Pb GND	11	OV (GND)
5	Pr out	12	SWITCH GND
6	Pr GND	13	NONE Connect
7	NONE Connect	14	SWITCH
外周	SHEELD GND		



仕様

ビデオ/S 出力端子			
1	GND	5	NONE Connect
2	GND	6	NONE Connect
3	Y	7	VIDEO
4	C	外周	SHEELD GND



対応画面モード一覧

本機には下記画面モード、同期周波数の映像を入力できます。

画面モード (ドット)	リフレッシュレート (垂直同期周波数)					
	60Hz	70Hz	72Hz	75Hz	85Hz	100Hz
640 × 400		○				
640 × 480	○	○	○	○	○	○
720 × 480	○					
720 × 576	○					
800 × 600	○	○	○	○	○	○
848 × 480	○	○	○	○	○	○
1024 × 768	○	○	○	○		
1152 × 864	○	○				
1280 × 768	○	○	○	○		
1280 × 960	○					
1280 × 1024	○					

トラブルとQ&A

正しく接続しているはずなのに、画面が映らない。またはテレビに表示されたパソコンの画面が乱れる。

- もう一度ケーブルの接続が間違っていないかご確認ください。
- 接続されている機器はXMOV-2に対応した機器ですか？
- パソコンの電源はオンになっていますか？
- 出力側に接続しているテレビ等の電源はオンになっていますか？
- 出力側に接続しているテレビ等のチャンネル(入力設定)は外部入力に設定されていますか？
- ノート型パソコンの場合、外部ディスプレイへの映像出力がオンになっていますか？(23ページを参考にしてください)
- パソコンの画面設定がマルチモニターモードになっていませんか？(24ページを参考にしてください)
- パソコン側の画面モードの設定は、本機がサポートする解像度になっていますか？(27ページを参考にしてください)
- パソコン側の画面モードが切り替わる瞬間、画面が一時的に映らなくなったり、乱れたりする事がありますが、これは本機の仕様であり、改善することはできません。
- 拡大表示機能や静止機能を使用すると、画面が切り替わる瞬間、画面にノイズが発生したり、画面が変色する事がありますが、これは本機の仕様であり、改善することはできません。
- リセット機能を使用すると、一時的に画面が映らなくなったり、「画面が明るくなる」、「画面の表示位置がずれる」、「画面が変色する」等の症状が発生することがあります。これは本機の仕様であり、改善することはできません。
- パソコン(またはUSBハブ)のUSB端子からの電源5Vの電流値が500mAに満たない場合は、本機が正しく動作しないことがあります。

画面が波打つように揺れる。

- 複数のテレビをご使用で、テレビ同士が隣り合わせて設置されているなど、テレビとテレビが近づきすぎていませんか？
- 現在設定されているパソコンの画面モードは、本機に対応したモードですか？27ページをご覧ください、ご使用の画面モードが本機に対応しているかご確認ください。

次ページにもトラブルについて記述されています▶

トラブルとQ&A

XMOV-2を接続する端子が見つからない。

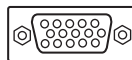
- 本機はUSB端子より電源を供給します。USB端子(図17)のないパソコンではご使用いただくことができません。ご了承ください。

図17



- 本機に接続できるのは15ピン・アナログRGB出力端子(VGA出力端子:図18の端子)を持つ、AT互換機(DOS/Vパソコン)です。それ以外のパソコンではお使いいただくことができません。

図18



- ノート型パソコンでは、本体にアナログRGB出力端子がなくても、アダプター(ポートリプリケーターや変換ケーブル)などで15ピン・アナログRGB出力端子(VGA出力端子:図18)を増設できる機種もあります。
- パソコンのデジタル液晶ディスプレイ用端子である、DVI-D端子やDFP端子には接続できません。

字がぶれて読めない。

- 一般的なテレビに接続した場合で、パソコン側が1024×768ドットの画面モードなどの時、文字などが読みづらくなります。こういった場合は、「パソコン側のシステムの文字サイズを大きくして対処する」、「パソコンの画面モードを解像度の低い画面モードに変更する」、などの工夫が必要です。
- ビデオ端子でテレビに接続した場合、文字が鮮明でなかったり、画面がギラついて見えたりする場合があります。より鮮明な画像で見るとためにはS端子やD端子に接続することをおすすめします。
- ビデオ・プロジェクターやプロジェクション方式のテレビ、プラズマテレビ、液晶テレビなどでは、パソコン側の画面モードが低い解像度でも文字などが著しく読みづらくなる場合があります。これらの表示機器は、ブラウン管方式のテレビより画面の鮮明度(画素数)が低いいため、文字などが読みづらくなります。

次ページにもトラブルについて記述されています▶

テレビ画面に縦縞が出る。

- 画面に縦縞（モアレ）が発生することがありますが、これはXMOV-2の仕様であり、症状を改善することはできません。

テレビ画面が明るすぎる・暗すぎる。

- リモコンで画面の明るさを調節してみてください。
- 映像分配器を使っていませんか？パソコンの映像を分配して本機に接続すると、極端に画面が明るくなったり、暗くなったりする場合があります。分配器を使用した際の動作については保障できません。

パソコンに表示された画面とテレビに表示された画面の比率が異なる。

- パソコンの本来の画面比率と、テレビに表示された画面の比率が異なる場合があります。これは本機の特性であり、改善することは出来ません。

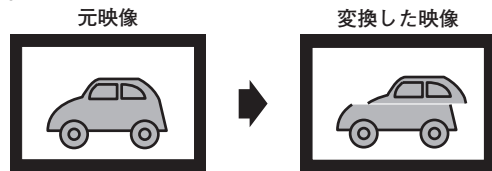
動画映像を再生したり、ゲームなどで、画面がなめらかに縦スクロール（縦移動）するシーンを表示すると、テレビ画面でコマ飛びや、がたつきが発生するのですが。

- この症状は本機の特性であり、改善することは出来ません。

画面がなめらかに横スクロール（横移動）するシーンを表示すると、画面の特定の部分が下図の様に切れたような状態になり、線の様に見える。この線の様な物が、上方向、または下方向にゆっくり移動する。

- これは、ビデオ・スキャンコンバーター特有の症状で、入力側の映像のリフレッシュレートと出力側の映像のリフレッシュレートが異なるため発生します。本機は、入力映像と出力映像が非同期なため、この症状が発生します。

図19



次ページにもトラブルについて記述されています▶

パソコンで動画映像を再生すると、ウィンドウ内の動画が表示されている部分が真っ黒で、画像が表示されないのですが。

- 全般的に画面は正常に表示されているのに、動画が映っていないはずのウィンドウだけ真っ黒で何も表示されていないことがあります。原因は複数考えられますが、この症状は、本機の故障や不良によって発生するものではありません。

この様な症状は、ノートパソコンや映像出力を2系統持つデスクトップパソコンで発生します。原因は、ご使用のパソコンの仕様上の制限とと思われます。パソコンの性能や、パソコンに使用されているビデオコントローラーチップの性能により、パソコン専用ディスプレイと外部出力（ここではXMOV-2の事）に動画映像を同時に表示できないものと思われます。ノートパソコンの場合は、画面の表示を外部出力のみに設定すると、症状を改善できることがあります。

ノートパソコンで通常は問題なく使用できるが、パソコンの蓋（液晶）を閉じたり開いたりすると、画面が表示されなくなるのですが。

- ノートパソコンの機種によっては、液晶を閉じた時に映像の出力を停止し、再度液晶を開く際に、接続されているディスプレイ（ここではXMOV-2の事）をDDCという信号で接続を確認した後、映像信号を出力している機種があります。こういった機種では、「液晶を閉じる」→「液晶を開く」という動作で、パソコン側が映像を出力できなくなります。

本機はDDC信号に対応しておりませんので、こういった症状が発生します。症状が発生した時は、パソコンを再起動後23ページの操作を行うと症状が改善されます。

弊社では、下記の機種で、症状の発生を確認しています。

IBM社 ThinkPad G40シリーズ

本機のD出力端子に、市販のD端子ケーブルを使用してテレビに接続すると、画面を表示できないのですが。

- 本機のD出力端子から映像信号を出力するには、EIAJ準拠のD端子ケーブルを使用する必要があります。EIAJ規格ではD出力端子の12番ピンと14番ピンがスイッチとなっており、これらのピンがショートしていなければなりません。これらのピンがショートされていない場合、D出力端子から映像を出力できません。本機とテレビとをD端子ケーブルで接続する際は、必ずEIAJ準拠のケーブルをご使用ください。なお、本機に同梱のD端子ケーブルでは、この様な問題は発生しません。

次ページにもトラブルについて記述されています▶

ワイドテレビでパソコンの4:3画面を表示すると画面の比率が横長になるのですが。

- 1024 × 768 ドットや640 × 480 ドットの画面サイズは4:3比率のディスプレイでの表示を前提としているため、ワイドテレビで表示すると、画面が横長になります。本機には、画面の比率を調整する機能が付いておりませんので、テレビの機能を利用して、表示モードを「ノーマル表示」等に変更して表示してください。表示モードの変更は、テレビのメニュー操作やテレビのリモコンの機能によって設定することが出来ます。なお、表示モードを変更できないテレビでは、この問題を改善できません。

図20 ワイドテレビの画面

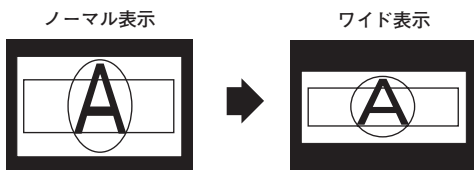


備考:テレビの機種によっては、ビデオ入力やS入力では表示モードを変更できるが、D入力端子から映像を入力した場合に表示モードを変更できないことがあります。

ノーマルテレビでパソコンの16:9画面を表示すると画面の比率が縦長になるのですが。

- 1280 × 768 ドットや848 × 480 ドット等の画面サイズは16:9比率のディスプレイでの表示を前提としているため、ノーマルテレビ(4:3)で表示すると、画面が縦長になります。本機には、画面の比率を調整する機能が付いておりませんので、テレビの機能を利用して、表示モードを「ワイド表示」等に変更して表示してください。表示モードの変更は、テレビのメニュー操作やテレビのリモコンの機能によって変更することができます。なお、表示モードを変更できないテレビでは、この問題を改善できません。

図21 ノーマルテレビの画面



備考:テレビの機種によっては、ビデオ入力やS入力では表示モードを変更できるが、D入力端子から映像を入力した場合に表示モードを変更できないことがあります。

次ページにもトラブルについて記述されています▶

XMOV-2を接続していると、パソコンのバッテリーが急激に減ってしまいませんか？

- XMOV-2はパソコンのUSBから電源を供給しているため、ノートパソコンでご使用の場合、パソコンのバッテリーに蓄えられた電力を消耗します。このため、通常よりも早くバッテリーの電力が無くなります。本機の消費電力は5V (500mA 以下)とたいへん低いので、正常なパソコンでは電力の消耗はほとんど気にならないレベルです。しかし、パソコンのバッテリーが劣化気味で電源容量が気がかりなお客様は、パソコンのACアダプターをACコンセントに接続してご使用ください。

画面の比率を細かく調整できないのですか？

- 本機には画面の比率を微調整する機能がありません。画面の比率を調整することはできません。

同梱の音声ケーブルを使用して、テレビのスピーカーから音声を出力すると、音量が小さく、聴き辛いのですが。

- パソコンの音声出力を、テレビ等のスピーカーから出力すると、音量が小さくなり、音声が聴きづらいことがあります。本機やケーブル側では音量を調整できませんので、パソコンの音量やテレビの音量を調節し、最適な音量に調整してください。

画面の表示位置や表示幅、明るさ等をパソコンの画面モードごとに設定したいのですが。

- 表示位置、表示幅、明るさ、フリッカーの設定は各画面モード共通です。パソコンの画面モードごとに設定することは出来ません。

次ページにもトラブルについて記述されています▶

トラブルとQ&A

これらのチェックでも原因が見つからなかった場合は、まず弊社にご連絡いただき、担当者の指示に従ってください。それでも問題が解決しなかった場合は、お手数ですが同梱の保証書に必要事項をご記入のうえ、商品と一緒に弊社までお送りください。

保証規定にそって無料で修理いたします(修理をご依頼の際は、本体・ケーブル・保証書などの同梱品を必ずお送りください)。

なお、保証書のない場合や、保証期間を過ぎてからの修理、保証期間内であっても故障の原因が、お客様の不注意によるものであった場合は、修理費の請求をさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

<製品のご質問・修理のご依頼は下記までお願いいたします>

郵便番号：541-0041

住所：大阪市中央区北浜3丁目2番25号

京阪淀屋橋ビル6階 電波新聞社・大阪本社内

TEL 06-6203-2827

<e-mailでお問い合わせの場合は、下記ホームページをご覧ください>

<http://www.micomsoft.co.jp/>